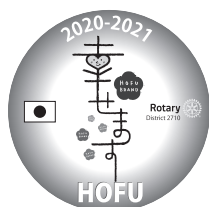


G

2020-2021 ROTARY INTERNATIONAL District 2710

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



Contents

- ガバナー挨拶…………… P02
- 青少年奉仕月間に寄せて…………… P03
- グループ10-11合同
インターシティミーティング報告…………… P04
- G3IM報告 IMテーマ
「これまでの日本、これからの日本
～不易流行～」…………… P05

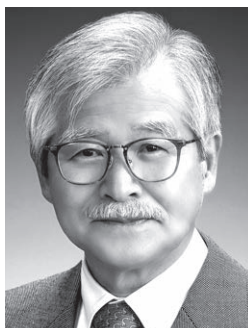
- 会長エレクト&地区チーム研修セミナーを
初めてバーチャルで開催!!…………… P06
- 特別コラム…………… P07
- 新会員紹介／出席率／編集後記…………… P08



日ざかりのお地蔵さまの顔がにこにこ

国際ロータリー第2710地区
2020-21年度ガバナー

脇 正典



5月は端午の節句、子どもの日があります。RIが5月を青少年奉仕月間と定めたことは偶々でしょうか。若葉が青葉に代わり、緑色が濃くなり、気温も暖かく、これからグングン伸びてくるという季節感が一致したせいでしょうか。



山頭火は、「日ざかりのお地蔵さまの顔がにこにこ」と子どもの成長を喜んでおり、お地蔵さまが笑っているように感じています。お地蔵様は子どもの守り神といわれます。幼稚園に古くからあるお地蔵様です(写真)。品のあるお顔なので、大変気に入っています。

ロータリーは青少年の育成援助に力を入れています。世界の未来は青少年にかかっているからです。インターアクトクラブや青少年交換プログラムを推進しています。コロナ禍で残念ながら今年度・次年度の青少年交換は中止せざるを得ませんでした。若い時に海外の社会・文化を体験することは本人にとっては勿論、これからの日本にとって大きな糧になることと思います。RIも現状は無理だが、コロナ禍がおさまれば、しっかり進めて欲しいと言っています。

青少年を支援することは、江戸時代にも藩校・私塾・寺子屋に加え遊学という形でも行われています。

広瀬淡窓の日田成宣園、緒方洪庵の大坂適塾が私塾として有名で全国から多くの若者が集まっています。福山(神辺)にも菅茶山の廉塾がありました。茶山と知り合いであった三田尻(防府)の南部伯民へ茶山から書状があり、医学生の宿泊を依頼しています。一泊の後さらに西に向かう学生に宿の世話を台道(防府の西)の上田少蔵に頼んでいます。

杵築之医生甲原某神辺之添書二而尋来候二付、一宿為致今日貴家江と志し出立仕候二付、

同ク添書二申上候、(後略)

南部伯民

霜月廿日

上田少蔵様

神辺の菅茶山の紹介状を持って杵築(大分県)の医学

生甲原某が伯民の所に一泊した。伯民は紹介状を持たせ、少蔵宅に泊めてもらうようお願いしている(脇正典『日本近世の藩社会』301頁)。このように知り合いの連携で若い人を支援している。

「男はつらいよ」シリーズの山田洋次監督に「学校」という作品があります。東京下町の夜間中学を舞台にした映画です。色々な事情で学校へ行けなかった生徒と情熱あふれる先生とのふれあいを描いたものです。教育とは何かを問いかけています。生徒が学ぼうとする気持ちがないと教育の実はあがりません。江戸時代の遊学はまさに当人の学ぼうとする意欲にかかっていた。

近代俳句を確立した正岡子規には伝えたかったことが二つありました。一つは当然ながら言葉を大切にすること。二つ目に若い人たちを心から信じ育てることでした。若い人の言葉に真摯に耳を傾け、適確な言葉で評価し、励まし続けることです(竹田美喜「いま伝えたい松山を生きた子規の心」『拔萃のつづり』その八十所収)。若い人は未熟ですが、成長する可能性があります。若い人を信じ応援すること大切です。

2月17日にクナークRI会長とガバナーとのZoom会議がありました。主な議題は会員増強でした。9人のガバナーから実践した報告があり、クナーク会長から夫々コメントがありました。今年度はコロナ禍で大変だが、Zoomの良さを活かして欲しい。地域間の距離がなくなり、時間を有効に使えること。海外とも簡単に接続でき、高齢者とも自由に話せること等を有効に活用するよう話されました。

さらにロータリーの未来形成について触れられ、そのポイントとして①若い人をリーダーにするように、若い人に機会を与えて欲しい。女性やローターアクターを中心に衛星クラブを作って欲しい、②地区を小さくして地域の特性を活かす地域化を目指して欲しいということでした。

若い人が活躍できるように、ロータリアンが積極的に支えていくことが大切なことです。古今東西の事例から、青少年の育成が今後のロータリーの未来、世界の未来に大きな影響があります。

「道は前にある まっすぐに行かうまっすぐに行かう」

青少年奉仕月間に寄せて

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度
青少年奉仕委員会 カウンセラー

前田 茂



5月は青少年奉仕月間であります。各地区、各クラブにおいて青少年育成の為にテーマや目的をもって実施されています。青少年奉仕は早くから奉仕事業として積極的に取り組みがされてきました。時代を追いながら現在までの経過を列記してみますと次のような事が考えられます。

1915年、標準クラブ定款と模範クラブ細則を採用し、クラブ管理の標準化がなされると同時に地区制度、ガバナー制度の制定と同時に、身体障害児対策を本格開始。1916年、青少年活動委員会設立がされ翌年、身体障害児協会が設立。1920年、東京RC誕生の年に少年週間開始(ニューヨークRC)、奨学金制度(アトランタRC)開始。そして国際奉仕の綱領化がなされ国際ロータリー(RI)が成立。ロータリー創立25周年に向けて青少年交換指針が発表され、その後財団活動が確立されていき「ロータリー財団」が設立。1934年、規定審議会が発足。RIの組織運営規定が系統的に合意のもとに実施。1950年、日本から第一期財団親善奨学生を送り出す(緒方貞子さんは翌年の2期生)。翌年、最初の財団奨学生が来日。1956年、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム: Rotary Youth Leadership Award)がオーストラリアで発足。1962年、最初のインターアクトクラブがフロリダ州メルボルンに設立され世界各国に拡大。翌年、仙台に日本初のインターアクトクラブ設立。1968年、ローターアクト計画発表(同年、川越に日本最初のローターアクトクラブ設立)。1969年、青少年活動週間制定、地区幹事・地区会計制度が制定。翌年、規定審議会を立法機関として決定。1971年、オーストラリアで開発されたRYLAを公式採用(1976年、大阪と和歌山で日本初めてRYLA実施)。1974年、青少年交換プログラム開始。女性ロータリアンは会員として認められていなかったが、時代の変化と共にこれから15年後、青少年奉仕の新しい発見とともにシンガポール規定審議会でも女性ロータリアンを認める決定がなされた。

ロータリーの青少年奉仕は現在大きく分けて、RYLA、インターアクト、青少年交換プログラム、ローターアクト等が主なプログラムとなっていますが、クラブ、地区が独自に奨学金支援など様々な青少年の為にプログラムを事業として継続しているところも存在します

まず、RYLAは年令14~30歳を対象としたリーダーシップスキルと人格を養いながらロータリーについて学ぶ集中研

修プログラムです。地区単位から複数地区合同、クラブ単独でも開催可能です。ニーズに応じて一日のセミナーから数日間の合宿まであり、トピックのプレゼンテーションアクティビティ、ワークショップの力を引き出すことを目的とした、中学生対象のものから創造性のある問題解決力を養う大学生対象のもの、ビジネス倫理について学ぶ社会人対象もあり、RYLAを通じて次世代のリーダーを養成し、奉仕のためのリーダーとして可能性を引き出し、地域のリーダーとしてロータリークラブに貢献する力を発見するきっかけともなっていくものでもあります。

日本で現在、RYLAを実施しているのは34地区のうち28地区です。さらに海外からの参加による多様化の実践などに一層の発展が期待されています。インターアクトは、1962年6月に理事会で採択された国際ロータリーのプログラムです。ロータリークラブによるスポンサーの下、12歳から18歳までの青少年により構成される組織体で、その目的は奉仕、国際理解、指導力育成に寄与する世界的な友好の精神で活動する機会を提供することです。青少年交換は1974年に採択された国際ロータリーのプログラムで、海外の人々と交流し外国での生活を通じて異文化を体験する機会を青少年に提供します。異文化出身の学生との交流を通じ、受入クラブ、ホストファミリー、そして地域社会が豊かになるこのプログラムは、青少年の国際理解と親善の育み、平和の構築と維持に不可欠な異文化理解能力の養成に役立つものです。今年度、青少年交換プログラムは中止となり、このプログラムに積極的に係り手伝ってくれているROTEX(学友)も活動が出来ず大変さみしい思いがあるという声が届いています。折しも昨年11月、おそらく世界初のROTEXだけからなる衛星クラブ「東京北Exchangeロータリー衛星クラブ」が発足しました。これを期にROTEX間の友情とロータリーとの絆を一層強くし、全国青少年交換研究会ROTEX分科会を開催されるということで活発な活動を期待するところであります。2019年の規定審議会でもローターアクトはRI加盟が認められ年齢の上限を自ら決定できること、国際ロータリー定款でRIは全世界のロータリークラブ及びローターアクトクラブの連合体であると明記されます。現在までこのような変遷を経て次代を担う青少年への奉仕が不易であるかどうかは次代に委ねることとします。



グループ10-11合同 インターシティミーティング報告

国際ロータリー第2710地区
グループ10ガバナー補佐

本田 祐二

国際ロータリー第2710地区
グループ11ガバナー補佐

谷口 宏樹



2021年3月6日グループ10-11合同IMをリモート方式に代えて開催致しました。両グループ内では初めての試みと思います。

IMのテーマは、今のネガティブな空気を発想の転換で明るいものに切り替えたいとの思いから「コロナ禍転じて、福の山」としました。来賓のみなさまには、事前映像で開会式にご参加頂いたり、脇正典ガバナーには、閉会式でリモート中継によりご講評を頂きました。

本会議第1部では、「コロナをチャンスに生かす企業の成長戦略」と題して、株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズ代表取締役社長の佐藤雅典氏に国内資金のみによるファンドを活用し、地方企業を中心とした再生案件に携わられるご経験をもとに、我々地方の企業家を元気に頂くお話しをして頂きました。

また、第2部では、将来を担う小中高校生の計8名にパネラーとし、地元選出の衆議院議員小林史明氏のコーディネーターのもと、



積極的なディスカッションをして頂きました。関東4都県が緊急事態下であったため、小林代議士は、東京の議員会館からリモートでの参加となりましたが、それまでに何度も同様な打ち合わせや練習をされていたことから、あたかもその場に同席しているかのような、巧みなコーディネートぶりで、80分間熱の籠もったものになりました。男子小学生からは、「もし友達がコロナに罹って欠席し、その後回復して登校してきたときは、真っ先に声を掛けに行きたい。これを通じて仲の良い関係ができてと思う。」と力強い発言が、また、女子小学生からは、コロナ禍で従来の運動会が中止となったが、生徒らが中心となって、感染対策を取りながらも、スポーツフェスタを実施したこととの報告と共に、「コロナ禍を理由に何でも中止にして済ませていないですか」との手厳しい意見があり、どきりとさせられました。中学生、高校生からも、それぞれにコロナ禍でも懸命に活動している様子や地域や企

業家への提言があり、紙面の都合で紹介できないのが残念ですが、どの意見もすばらしい内容でした。第2部の最後で、福山市教育委員会の三好雅章教育長に登場して頂き、講評を頂きました。

小林代議士が、最初の生徒達との顔合わせ時に、自分は、みなさんを社会の一員として見ているので、社会の一員として考え発言して欲しいと、パネルディスカッションの方向性を示されました。その方針をもとに、生徒達をサポートされた福山赤坂RCの若手会員の頑張りが、大成功に導いたと言っても過言ではありません。

また、本来懇親会でのアトラクションをお願いしていた小・中・高校生18名からなる備後蔵王太鼓のみなさまに、開会式と本会議の間の時間に、登場して頂きました。コロナ禍を吹き飛ばす厄払いと、第2部の生徒達へのエールを込めた2曲の演目を力強く演奏して頂きました。

福山赤坂RCと福山丸之内RCは、コロナ禍の中で会場や方法をその都度協議し、幾度の変更を繰り返して準備を進めて参りました。懇親会は、さすがにコロナ禍では、中止のやむなきに至りました。会場は、定員2000名のふくやまりーデンローズで準備に入りましたが、年末に広島県でコロナ禍が急激に悪化し、また、年明けからは、再度の緊急事態宣言が大都市圏で発令されるなかで、1月下旬に無観客でのリモート方式に切り替えました。

当日は、福山ニューキャッスルホテルにて、万全なコロナ感染症対策のもとで、両クラブ会員と第1部、第2部の出演者及び備後蔵王太鼓のみなさまにお集まり頂き、舞台設営や照明等の専門業者にリモート作業もお願いして、最後まで中断することなく、実施することができました。

最後に、リモート方式にご理解を頂きましたご来賓のみなさまと、各グループの会員のみなさまに、感謝申し上げます。また、両クラブの実行委員会のメンバーと協力頂きました会員各位に御礼申し上げます。

また、この度ライブ配信しました、IMのYouTubeアーカイブを残しております。https://youtu.be/Gpl0i8OZn1YこちらのURLより当日の様子が一年間ご覧いただけますので、折を見てアクセスして頂ければ幸いです。

G3IM報告 IMテーマ「これまでの日本、これからの日本 ～不易流行～」

2020-21年度国際ロータリー第2710地区
グループ3ガバナー補佐

山本 一成



令和3年3月27日にグループ3のIMをデザインプラザ防府にて開催いたしました。

コロナ禍中での開催ということで、島田 教明 実行委員長、中村 元彦 会長らと話し合いを重ねました。幸い、グループ3の山口防府地区は感染者が多くなかったこと、予防対策を徹底し会食を伴わなければ開催は十分可能だと判断して予定通り行うこととしました。ただ、集会への参加を制限されている方や、不安を抱かれている方に向けて、ZOOMでの配信を併用するハイブリッド形式といたしました。

冒頭、去る3月12日にご逝去された、元RI理事、南園 義一バスター（防府RC）に哀悼の意を表し黙祷を捧げました。南園元RI理事の残されたご功績は、戦略計画委員会やRLI制度の導入など枚挙に遑がない、と脇 正典ガバナーも綴っておられます（ウェブサイト「追悼.com 南園義一」でご覧になれます）。

防府南RC中村会長の歓迎挨拶に続き、脇ガバナーから、「リアルな形で開催されるグループ3のIMを大いに楽しみにしている」とのお言葉をいただきました。また公務多忙の中、駆けつけて下さった池田 豊防府市長からもご挨拶いただきました。



今回のテーマは「これまでの日本、これからの日本～不易流行～」です。どこを、何を起点に「これまで」と「これから」に分けるのか種々お考えがあらうかと思います。でも、昨今の状況を鑑みれば、今回は「コロナ禍前」と「コロナ禍後」に集約できるのでは、と考えます。また、「これまで」を「過去」に、「これから」を「未来将来」に置き換えてみますと、変えられない過去に対し、切り開いていかなければならない「未来将来」とも言えると思います。講師の要望もあり、将来を担う若者に何かしらのメッセージを伝えられたらとの思いで、近隣の高校生にもお声がけし参加してもらいました。

第一部では、まずはエンリンクスパートナーズ社DEO、尾中 泰氏に「海外から見た日本」と題しご講演をいただきました。尾中氏は、日本でのDELLコンピューターやBluetoothの導入に関わり、一旦家業（子供服販売業）を手伝った後、米シアトルで起業、20年以上の海外生活歴を持つIT関連に造詣の深い方です。COVID-19のパンデミックにより、日本のIT化は進んでいるように思えるけれども、諸外国にかなり遅れをとっていることや、リバーサインベーションのお話は深く心に残りました。若い世代に向けては、「自分の価値観が大事で、友人や故郷を大

切にし、誇りを持って世界へ挑んで欲しい」と述べられました。続いてフジテレビジョン上席解説委員、平井 文夫氏に「マスメディアから見た日本」と題しご講演をいただきました。入社以来、報道畑一筋で、「新報道2001」のキャスターなどを務められた平井氏ならではの興味深いお話でした。昭和天皇の崩御、ベルリンの壁の崩壊、湾岸戦争の体験は、我々も当時を思い出しながら、時代の変化を改めて感じたところでした。中でも、現地で命がけの取材にあたった天安門事件のエピソードは印象に残りました。「コロナ禍でデジタル化は進むけれども、例えば、本は無くなることはなく、これからはアナログとの併存の時代」、また、「テレビや新聞などメディアの情報を鵜呑みにするのではなく、自分で考える習慣を身に付けよう」など多くの教唆をいただきました。

続く第二部では、講師2人に島田実行委員長が加わり、防府山口、そして日本についての討論が行われました。高校生から真っ先に質問が出されるなど、和やかで活発なディスカッションとなりました。「これからは、地球規模（global）を見据え、地域視点（local）で行動するという、グローカル（glocal）の考え方が必要。失敗を恐れず、チャレンジ精神を持ち、考え活動していくことが大切である。また、地方創生には、行政に頼らず民間の力が不可欠である」と結ばれました。

閉会セレモニーでは、脇ガバナーから「非認知能力アップが教育の現場で求められている。今日のIMは、とくに高校生にとって大きな実りがあったのではないかと」ご講評をいただきました。続いて山本 和郎次年度ガバナー補佐（山口県央RC）のご挨拶、島田実行委員長の謝辞で終了しました。

今回は、コロナ禍の中での開催ということもあり、心配がなかったわけではありましたが、防府南RCの皆様のご協力のもと無事終えることができました。心から感謝とお礼を申し上げます。今後も当面は、COVID-19を常に意識下においてクラブ運営をしなくてはならないでしょうし、IMの開催そのものも難しい判断を求められるかもしれません。更に言えば、IMのもう一つの柱である親睦を如何に図っていくのか、課題として残ったのではないのでしょうか。

最後に、参加して下さったご来賓各位、グループ3の会員の皆様、高校生の皆様に改めて深く感謝申し上げますIMの報告を終わります。



参加者				
ロータリー関係	来場	119名	WEB	58名
高校生関係	来場	24名	WEB	13名
				計 37名
				合計214名



会長エレクト&地区チーム研修セミナーを初めてバーチャルで開催!!

国際ロータリー第2710地区
ガバナーエレクト

杉川 聡



ガバナーエレクトの杉川です。2021年3月14日にRI第2710地区では「会長エレクト&地区チーム研修セミナー」をバーチャルで開催させて頂きました。

2月の国際協議会に続き、会長エレクト&地区チーム研修セミナーもバーチャル開催となりました。参加された皆様には、初めての開催のため、色々使い勝手が分からず、ご不便をお掛け致しました事、この場をお借りしてお詫び申し上げます。RIからメンバーの感染予防を第一に考え、会合はバーチャルで実施するようにとの指示が出ておりますのでバーチャル開催となってしまいました。ご理解を頂きたいと思っております。

セミナーの実施に当たっては、地区チーム幹事団と地区事務局で再三に亘り協議を重ね、発表内容・発表時間等バーチャル開催に適した内容になるよう鋭意精査を致しました。PC画面を通しての開催となりますので、連続して視聴して頂くのは2時間が限界で有ろうと言う事になり、いつもは1日掛けて実施している内容を削って行く作業は困難を極めました。また、事前録画に付きましては、地区事務局の協力を仰ぎ、外部の専門家にはお願いせず、手作りの製作とさ

せて頂きました。大変コンパクトな手作り感満載のセミナーとなりましたが、参加頂いた会長エレクトの皆様方には、2021-22年度シェカール・メータRI会長のテーマの内容や、ガバナー信条及び地区運営方針に付いては、十分ご理解頂いたものと確信致しております。

〈RI会長テーマ〉
奉仕しようみんなの人生を豊かにするために
(Serve to Change Lives)

〈ガバナー信条〉
みんなのためになるかどうか。未来のためになるかどうか。
～多様性を受け入れ、相互理解を深めよう!!～

本日の予定		
開会	司会:次年度地区副代表幹事	室崎 雅宣
次年度研修リーダー挨拶	次年度地区研修リーダー	藤中 秀幸
ガバナー挨拶	ガバナー	脇 正典
次年度RIテーマと地区運営方針	ガバナーエレクト	杉川 聡
クラブ会長の役割と責務	"	"
地区委員会の重要性	"	"
地区活動について	次年度地区代表幹事	佐々木 宏
地区会計予算について	次年度地区会計長	岩田 智博
地区大会について	次年度地区大会実行委員長	曾里 裕
閉会		

コロナに負けずに、前だけを向いて頑張ってください!!
2021-22年度も宜しくお願い致します。

南園元RI理事を偲び謹んで追悼の意を表します

南園元 RI 理事のご功績は枚挙に遑ありません。私とは防府 RC で南園会長の時の幹事、RI 理事の時に私が会長でした。その後、先生の強い要請で、私が 2710 地区のガバナーを引き受けるようになりました。防府で行います地区大会を心待ちにさせていただきに見てもらうことができなかったことは、残念でたまりません。

長期戦略委員会や RLI 制度を提案導入されたことはロータリーに画期をもたらせた大きな礎となったことと思います。先生のご功績に感謝し、送る言葉といたします。ありがとうございました。

国際ロータリー第 2710 地区ガバナー 脇 正典



2021年3月12日
ご逝去(享年91歳)

防府
故 南園 義一 殿

【ロータリー歴】
1991-92 防府ロータリークラブ会長
1997-98 RI第2710地区ガバナー
2004-06 RI理事
メジャードナー(レベル3)
ベネファクター
米山功労者

【職業分類】
胃腸病院

特別コラム

癌治療の変遷

国際ロータリー 第2710地区
がん予防推進委員会 委員

井上 文之



今から約50年前、私（昭和28年生まれ）が、小学校低学年であった頃のことです。登校前の早朝、まだ布団の中でうとうとしている時、母に突然、私のパンツをずりおろされ、お尻の肛門にベタッと粘着テープのようなものをおしあてられて、びっくりして飛び起きたのを覚えています。同じようなことをされた先輩達もおられるのではないかと思います。そうです。蛭虫の検査です。

この当時小学校の男子児童の2～3人に1人ぐらゐは蛭虫を持っていて、薬を飲まされていましたが、花粉症のような、その当時高貴な病気になっているものはクラスに1人いるか、いないかでした。

福山は片山病（日本住血吸虫症）という寄生虫で有名な所でしたが、最近では寄生虫自体が激減し、蛭虫もほとんどいなくなりましたが、逆に花粉症が激増し、今では2～3人に1人は花粉症を持っているといわれています。

なぜ、寄生虫が減ると花粉症が増えたのでしょうか。一説によると寄生虫は人体に入ると自分が住みやすいように、人体の拒絶反応が起こりにくくなるような物質を体内に放出しており、この物質によって他のアレルギー反応も抑制されていたのではないかとという説があります。

私は若い頃、大学の医学部で免疫の研究をしていました。学位も免疫学で頂いたのですが、その頃、私は免疫力を高めれば癌を治すことができるのではないかと毎日考えていました。しかし私たちの体は自分のものではない細菌やウイルス、他人の臓器など非自己に対しては、かなり強い攻撃的な免疫力を発揮するのですが、自分の体の中からできる自己発生の癌に対しては十分な免疫力は発揮できないのです。散々研究した末の結論として、つい最近まで「免疫では癌は治らない。」と思っていました。先日ノーベル賞を受賞された本庶佑先生は、私たちが考えていた癌に対する免疫と、全く違う方向から癌の免疫を見られていました。癌においても寄生虫とアレルギーの関係と同じように、

癌自体も生体内で免疫が強くなったら住みにくいので、癌細胞を攻撃しないように免疫力（T細胞）にブレーキをかけている蛋白を、癌細胞自身が出しているのを発見されたのです。これがPD-1と呼ばれる蛋白質です。その免疫力（T細胞）にかかったブレーキを外し、免疫細胞が癌細胞を攻撃できるようにする薬（免疫チェックポイント阻害薬）の一つがニボルマブ（商品名 オプジーボ）です。

オプジーボはT細胞の表面にあるブレーキの元となるPD-1にしっかりと結合することで、癌細胞が出したT細胞の働きを抑える信号をブロックします。これによってT細胞は活性を取り戻して、再び癌細胞を攻撃できるようになります。

本庶先生も最初からこのような理論を考えられたのではなく、当初はここに何かわからない蛋白があるといったところから始まりました。このようなものは研究していると多々あり、多くは「何かなー。」で終わってしまうのですが、それをそのままにせず、とことん研究されPD-1の働きを解明されたのです。

昔の癌化学療法は、まずAという制癌剤を投与し、効かなかったら次にB、次にCというように使っていました。今は、まず癌組織の一部を取り出し、遺伝子検査を行い、その変異をみて、この癌細胞には何が効くか決定します。そして、その薬剤を適格に使って治療をするのです。昔の時よりは格段によく効くようになりましたし、副作用も軽減しました。進行した肺癌であっても、数年生存できる症例が稀でなくなっています。

私が医者になりたての約40年前、私の先輩が「の一、井上。わしらは結核は手術すれば治ると思って、一所懸命切って（手術して）きたんよー。しかし今、結核は薬で治る時代になった。」と言われたのを覚えています。私も死ぬ前までに、私の後輩たちに、「の一、〇〇先生。わしらは癌は手術すれば治ると思って、一所懸命切って（手術して）きたんよー。」と言える日が来るのを念じています。

新会員紹介

 永戸 愛子 山口南 2021年3月5日 プライダル企画	 橋本 剛士 周南西 2021年3月9日 有線テレビ	 渋谷 智啓 徳山 2021年3月11日 合成ゴム製造	 永井 靖二 広島東 2021年3月3日 土木建築	 澤田 賀央 広島東 2021年3月3日 美術品販売	 山根 以久子 広島東 2021年3月3日 環境エクステリア	 岩本 利宣 広島北 2021年3月4日 木材製造	 野口 隆志 広島北 2021年3月4日 安全靴製造
 東影 正博 広島東 2021年3月8日 総合建設	 安本 政基 西条 2021年3月11日 レクリエーション(アミューズメント)	 斎藤 隆夫 福山 2021年3月29日 新聞印刷	 由良 浩二 福山 2021年3月29日 旅行業	 辰巳 彰英 福山赤坂 2021年3月9日 防水業	 萩原 治 三次 2021年3月18日 電気事業	 上田 辰男 三次 2021年4月1日 美容	

追悼 謹んで の意を表します  【ロータリー歴】 1993-94年度 会長 2000-01年度 ガバナー補佐 マルチプル・ボール・ハリス・フェロー 【職業分類】 肥料配布 2021年4月4日ご逝去(享年90歳) 尾道東 故 山本 洋 殿	【ロータリー歴】 1996-97年度 クラブ創立時会長 1997-98年度 会長 2005-06年度 G11ガバナー補佐 マルチプルボールハリスフェロー 米山功労者マルチプル 【職業分類】 情報通信建設業 2021年3月16日ご逝去(享年76歳) 福山赤坂 故 真田 惣行 殿
---	---

国際ロータリー第2710地区 2020-21年度会員増減・出席率(2021年3月度)

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会	会員数
1	長門	72.80	19	17	3	1	3	
	下関	59.00	45	44	1	2	3	
	下関中央	71.82	38	38	8	0	0	
	下関東	67.06	56	64	3	9	1	
	下関北	70.08	41	43	1	2	0	
	下関西	78.32	32	32	0	2	2	
	計	69.85	231	238	16	16	9	
2	萩	97.86	51	50	1	0	1	
	萩東	86.72	25	27	0	2	0	
	美祿	71.87	24	22	1	0	2	
	小野田	70.08	40	39	2	0	1	
	宇部	85.54	42	42	2	4	4	
	宇部東	69.54	12	9	1	0	3	
	宇部西	68.63	48	47	4	2	3	
	計	78.61	242	236	11	8	14	
3	防府	91.40	56	57	1	4	3	
	防府北	96.56	23	23	2	1	1	
	防府南	76.84	40	42	6	4	2	
	山口	87.46	40	43	4	7	4	
	山口県央	91.83	27	25	1	0	2	
	山口南	95.30	44	43	5	1	2	
	計	89.90	230	233	19	17	14	

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会	会員数
4	光	58.48	44	44	0	3	3	
	周南西	100.00	54	57	6	6	3	
	徳山	88.89	43	43	1	5	5	
	徳山セントラル	78.02	22	24	1	2	0	
	徳山東	88.89	46	49	0	3	0	
	計	82.86	209	217	8	19	11	
5	岩国	84.02	63	62	0	4	5	
	岩国中央	88.63	38	37	4	1	2	
	岩国南	91.09	60	62	5	3	1	
	柳井	77.78	31	28	1	1	4	
	柳井西	88.13	22	23	5	4	3	
	計	85.93	214	212	15	13	15	
6	広島	100.00	112	123	2	14	3	
	広島安芸	77.78	44	42	3	0	2	
	広島安佐	77.93	21	20	1	0	1	
	広島東	88.89	105	112	9	17	10	
	広島北	98.89	98	103	0	6	1	
	広島陵北	88.23	56	55	2	0	1	
	大竹	59.14	31	30	0	0	1	
	計	84.41	467	485	17	37	19	

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会	会員数
7	広島中央	77.78	74	74	7	0	0	
	広島廿日市	73.56	23	21	1	1	3	
	広島城南	88.89	40	40	3	1	1	
	広島南	100.00	84	89	0	9	4	
	広島東南	77.78	96	92	13	5	9	
	広島西	87.94	71	69	3	1	3	
	広島西	77.78	86	87	3	3	2	
	計	83.39	474	472	30	20	22	
8	江田島	79.19	18	18	0	0	0	
	福山	89.67	26	28	2	4	2	
	東広島21	72.45	19	19	4	0	0	
	呉	89.57	69	68	1	2	3	
	呉南	89.98	33	33	1	0	0	
	呉南	91.00	56	55	1	1	2	
	西条	98.39	33	34	2	4	3	
	計	87.18	254	255	11	11	10	
9	広島空港	75.33	28	28	3	0	0	
	因島	83.89	16	17	1	1	0	
	三原	82.60	57	55	0	2	4	
	尾道	82.78	76	84	2	9	1	
	尾道東	85.46	55	52	7	1	4	
	瀬戸田	51.85	3	3	0	0	0	
	竹原	94.36	18	16	3	1	3	
	計	79.47	253	255	16	14	12	

グループ	クラブ名	平均出席率	年度初 7/1	当月 末日	内女性	入会	退会	会員数
10	府中	68.92	25	20	2	0	5	
	福山	93.53	83	80	0	4	7	
	福山東	83.38	47	47	3	1	1	
	福山丸之内	94.53	29	30	1	2	1	
	鞆の浦	77.62	21	20	0	0	1	
	福山REC2710※	87.60	13	12	2	0	1	
	計	84.26	218	209	8	7	16	
11	福山赤坂	93.02	52	54	5	4	2	
	福山北	98.42	38	38	2	4	4	
	福山南	91.58	52	56	2	7	3	
	福山西	84.50	33	34	2	2	1	
	松永	92.50	51	50	2	2	3	
	計	92.00	226	232	13	19	13	
12	吉舎	86.97	14	14	0	0	0	
	三次	66.59	35	39	1	7	3	
	三次中央	58.32	38	40	5	2	0	
	庄原	70.32	31	31	5	3	3	
	東城	66.32	18	18	1	0	0	
	計	69.70	136	142	12	12	6	
	第2710地区計	82.17	3154	3186	176	193	161	

※正式名称「福山ロータリークラブ2710」
※システムの都合上、平均出席率は暫定的な数字となっております。
※今年度終了後、最終的な出席率をお伺いいたします。

編集後記

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、ふるさとへの帰省を控えているかと思ひます。昨年はコロナの影響で中止になってしまいましたが、毎年GWには防府市を流れる一級河川、佐波川上流の小野地区で【水中鯉のぼり】が行われます。綺麗で透き通った川の中を優雅に泳ぐたくさんの鯉のぼりが出現し、多くの注目を集めている事をご存知でしょうか？山々に囲まれた美しい自然の中、水の中を悠々と泳ぐ鯉のぼり、100匹はいるのでしょうか…この涼しげでとても風情がある様子をカ

メラに収めようと大勢のカメラマンが集まります。ベストポイント、防府市から佐波川沿いに山口方面に向かう途中にある赤い中央橋の真ん中あたりです。

この水中鯉のぼりは、地元の方々が地域を盛り上げようとおよそ10年前から始めた取り組みです。ロープひとつひとつに鯉のぼりを取り付ける様子は大変手間のかかる作業です。丁寧に作業される様子を地元の思い入れを感じます。是非、水中を泳ぐ鯉のぼりを堪能してはいかがでしょうか。

原 普 顕